

2011(平成23)年度 教育学部オープンキャンパス 授業見学会 見学可能授業一覧 (2011.10.24実施)

(その1)

時限	時間	授業科目名	担当教員	教室名等	建物名・階数等	見学可能人数等	予定している授業の概要・内容など
1 ・ 2	8:50   10:20	生命科学	井口 智文	2301	A棟・3階	約50名	メンデルの法則と遺伝子の働きについての説明
		運動生理学	小宮 秀明	1251	国際学部 E棟・2階	20～30名	スポーツマンは日常のトレーニングより筋力の向上を目指し、筋力の発揮については興味があると思います。今回は大脳の活動水準、筋線維型、筋活動に参加する筋線維数、筋の面積、固有筋力の立場からパワーポイントを用いて解説します。
		アメリカ文学演習BⅡ	幡山 秀明	英語演習室	F棟・5階	10名	学校の英語の教科書から、その理解を広げ、深めていくための研究対象となるテーマを見つけ発表してもらいます。今年度は特に教科書に出てくる「物語」「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取り上げてもらいます。
2   4	9:35   12:00	和声Ⅱ	新井 恵美	音楽実技教室	C棟・2階	5名	この授業では、中学校教諭に必要な作曲・編曲の知識・技能の基礎となる和声を身に付けることを目標とします。

(その2)

時限	時間	授業科目名	担当教員	教室名等	建物名・階数等	見学可能人数等	予定している授業の概要・内容など
3 ・ 4	10:30   12:00	グローバル化と外国人児童生徒教育	丸山 剛史	2104	F棟・1階	限定なし	授業では、栃木県において外国人児童生徒が増加し、学校が対応に苦慮していること、この問題に自治体や研究機関がどのように対応しようとしているか、宇都宮大学の取り組みを中心に解説する。授業担当者は国際学部・田巻松雄教授。
		音楽b	高島 章悟	音楽理論 第1演習室	F棟・1階	10名	音程を中心とした楽典、リコーダー実技及びピアノ弾き歌いの個人レッスン
		教育課程及び方法 (特別活動を含む)	青柳 宏	1121	基盤教育 B棟・1階	限定なし	教育の真の目的とは何だろうか
		比較教育	藤井 佐知子	2202	A棟・2階	7名	外国の教育事情を含んだビデオ視聴をもとに、日本の教育課題について受講学生同士で議論する。
		公民科教育法	松本 敏	2301	A棟・3階	30名	高校公民科で求められている授業のあり方について、平成元年版、11年版、21年版の学習指導要領の変遷を元を考える。
		統計学	藤平 秀行	2103	F棟・1階	限定なし	統計的データは世の中にあふれている。それら無批判に受け入れるのではなく、その意味を正しい目で見直すことの必要性を説こうと思う。
		化学	山田 洋一	2201	A棟・2階	限定なし	化学に関する基礎的事項
		理科教育学演習B	伊東 明彦	理科教育学 学生実験室	理科棟・3階	10名	理科教育学における研究方法を理解する。
		美術史	本田 悟郎	美術第2 演習室	B棟・1階	5名	この授業では、日本と西洋の美術を扱い、美術史の通史理解に留まらず、各時代の美術概念を論点とする。当日の授業では特に日本美術の中世・近世の講義を予定している。
		被服構成実習Ⅱ	清水 裕子	被服実習室	B棟・2階	20名	シャツの製作において、しるしつけ、裁断を行う。
		材料加工学Ⅰ	戸田 富士夫	技術科 セミナー室	理科棟・1階	5名	木材加工における樹木の重要性、特徴、各部の名称についての講義を行う予定であるが、特に樹木の寿命について樹木から見た人の一生とハツカネズミの寿命について比較しながら人と樹木との係わりについて概説する。
		英米文学セミナーⅠ	幡山 秀明	英語演習室	F棟・5階	10名	卒業論文作成を目的とした演習です。文学作品やその他の文化に関する研究テーマについての国内外の研究論文を読みながら卒論の書きかたを学習します。
知的障害児心理学特論	佐久間 宏	マルチメディア 教室1	A棟・3階	10名	配布プリントに基づいて知的障害児の事例研究について講義する。		
住宅政策論	陣内 雄次	2302	A棟・3階	10名	政策とは何か、政策の必要性など。我が国における住宅政策の歴史。		

## (その3)

時限	時間	授業科目名	担当教員	教室名等	建物名・階数等	見学可能人数等	予定している授業の概要・内容など
5・6	12:50   14:20	図画工作科教育法	本田 悟郎	2102	E棟・1階	約5名	この授業では、小学校図画工作科に関する基礎的事項について取り上げ、その現況および今日の諸課題、また、理論と歴史などから抽出される学的諸問題を解説・講義している。当日の授業では、小学校学習指導要領図画工作編の内容検討を予定している。
		教育学演習AⅡ	藤井 佐知子	カリウム開発学院研究生研究室Ⅱ	B棟・3階	5名	受講学生のこれまでの経験の語り合いをもとに、日本の教育や学校の現状、課題、問題点などを話し合う。同時に、人生における教育の意義などを考えていく。
		教育学演習BⅡ	青柳 宏	教育学部演習室1	A棟・3階	10名	内省、自己否定、コミュニケーション等の人の心に関わる問題について学生2名が発表をおこない、その後、発表内容について全体で討議をおこなう。
		社会科教育特講A	松本 敏	教育学部演習室2	A棟・3階	10名	社会科・公民科における社会参加の教育について、文献を読んで討論する。
		情報基礎	藤平 秀行	数学演習室	F棟・4階	10名	はじめに情報処理に関する基礎知識やコンピュータの概要について学ぶ。授業の主目的はプログラミングを通して情報及び数学の基本を理解することである。
		声楽Ⅱ	小原 伸一	合奏室	C棟・2階	10名	声楽実技のグループレッスン
		被服構成論	清水 裕子	被服実習室	B棟・2階	20名	体の動きと人体計測について例示や体験しながら授業を行う。
		技術学実験実習Ⅳ	針谷 安男	機械工場	機械工場	5名	エネルギー変換のひとつであるエンジンの往復動機構について、その原理と測定を行う。さらに、データ処理についての演習を行う。
		重複障害児教育概論	岡澤 慎一	マルチメディア教室2	A棟・3階	20名	本授業では、重度・重複障害あるいは重症心身障害といわれる重い障害がある子どもとの教育的係わり合いにおいて重要となる視点や方法について、映像資料をふんだんに用いながら解説します。
		メンタルトレーニング論	海野 孝	2301	A棟・3階	10名	覚醒水準と実力発揮度の関係を理解し、覚醒水準を調節する能力の開発の必要性を認識する。高すぎる場合の「あがり」だけでなく、低すぎる場合の「さがり」にも注目する。
理科教育学演習B	井口 智文	基礎生物学実験室	理科棟・4階	約15名	卒業研究に関する研究内容の解説		
5   7	12:50   15:15	材料加工学Ⅱ	戸田 富士夫	技術科セミナール室	理科棟・1階	約5名	金属加工に関する、引っ張り、圧縮、曲げおよびねじれについての材料力学での定義と計算方法について講義する予定。特に引っ張り強さについて、圧力と応力との違いについて概説しながら、引っ張り試験を行う。
5   8	12:50   16:00	理科教育学実験B	伊東 明彦	理科教育学生実験室	理科棟・3階	10名	中学校理科第1分野(特に物理)の内容を中心に、実際に実験を行いレポートを作成する作業を通して、理科の学習内容や理科における実験指導の在り方について理解を深める。

## (その4)

時限	時間	授業科目名	担当教員	教室名等	建物名・階数等	見学可能人数等	予定している授業の概要・内容など
7・8	14:30   16:00	音楽b	石野 健二	音楽実技教室	C棟・2階	10名	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な、簡単な楽典、楽器(リコーダー、打楽器など)の奏法などを扱います。また、ピアノを弾いたり、歌を歌ったりなどの実技も全体または個人レッスンの形態で行います。
		授業の研究	青柳 宏	2303	B棟・3階	10名	主に2～3年生の学生が、自分が独自に構想した授業を模擬授業としておこない、その後、全体で検討していく。
		保健体育卒業論文指導ゼミ(加藤研究室)	加藤 謙一	メディアルーム	E棟・5階	10名	保健体育の一分野(保健体育科教育/バイオメカニクス/発育発達)の卒業研究の作成過程における指導
		中等家庭科教育法Ⅱ	良 香織	マルチメディア教室2	A棟・3階	10名	本授業では、中学校家庭科の指導案作成方法や教材開発の方法について学び、模擬授業を行う。授業観察、授業評価、授業後の意見交換も併せて行い、実践力を培うことを目指す。
発達障害の理解と支援	梅永 雄二	2301	A棟・3階	限定なし	平成17年に施行された発達障害者支援法により、わが国の障害者は身体障害者、知的障害者、精神障害者といわれる3障害だけではなく、発達障害が含まれることになりました。発達障害とは、「LD、ADHDおよび自閉症・アスペルガー症候群等の広汎性発達障害」と定義されています。本講義では、このような発達障害とはどのような障害でどのような課題を有しているか、そしてそれらを解決するための教育支援の方法を学習します。(高校生向けの特別授業です)		